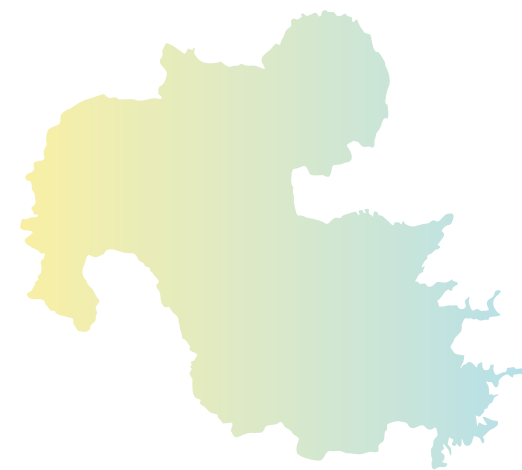




R.6

Oita Art and Culture
Support Center for
Disabilities

Annual Report

2024

企画・発行

おおいた障がい者芸術文化支援センター
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団

R.6

Oita Art and Culture
Support Center for
Disabilities

おおいた障がい者 芸術文化支援センター

令和6年度 事業報告書



Annual Report 2024

令和 6 年度
おおいた障がい者
芸術文化支援センター
事業報告書

Oita Art and Culture
Support Center for
Disabilities

Annual Report
2024



はじめに

おおいた障がい者芸術文化支援センターは、令和元年11月の開設から5年が経過しました。昨年度は「大分県障がい者芸術文化推進基本計画」(第2期)が策定され、「相談体制の整備」「創造・発表・鑑賞の機会の拡充」「作品等の評価、販売、権利保護等の推進及び交流の促進」「人材育成」「情報収集と情報発信」「関係者の連携協力」の6つの視点に基づいて、障がい者による芸術文化活動の普及促進のため、様々な取り組みを進めています。

センターには、毎年「創造」や「発表」の機会に関する多くの相談が寄せられます。「創造」の機会を提供する取組として、「オープンアトリエ」を中心とした事業を展開しており、利用している施設で創作活動が体験できるよう「アウトリーチ」を実施するほか、身近な場所で創作活動に取り組めるよう「地域開催」もしています。令和6年度の「地域開催」は、津久見市、玖珠町の1市1町で、ダンスや様々な素材を用いたアートワークショップを実施しました。

また、「発表」の機会としては、大分県立美術館(OPAM)で企画展を行いました。展示室を2部に分け、第1部では、令和3年に大阪の国立民族学博物館で開催された「ユニバーサル・ミュージアムーさわる! “触”の大博覧会」出展作品の中から、選りすぐりの作品を展示。ご来場いただいた皆様に「手でさわる」だけでなく、「体でさわる」「目でさわる」「耳でさわる」、そして「心でさわる」体験をしていただきました。第2部では、県内の個人や福祉施設、特別支援学校の方々の手から生まれた作品を展示。今回の「手から始まる」という開催テーマを踏まえ、展示作品の一部をさわって鑑賞してもらいました。それぞれが思いを込めて作りだした作品に直接さわる行為を通して、作品の美しさや温かみなど、それぞれの魅力を感じとっていただきました。

この企画展のタイトルを「手から始まるアドベンチャー」としたのは、身体感覚を研ぎ澄ませて「さわる鑑賞」を体験することで、美術館を出た後、小さな冒険の後のようなちょっと違った世界を感じてほしいという思いからです。

このほか、県内の小学校に障がいのあるアーティストを派遣し交流を図ることで、障がいへの理解を深めるワークショップや、障がいのある方の芸術文化活動をサポートする人材を育成するためのセミナーを企画し、障がいのある人が芸術文化活動に参加しやすい社会に向けた環境の整備にも努めています。

事業内容の充実は勿論のこと、障がいのある方々にセンターの情報が適切に届くよう、これまで以上に情報アクセシビリティの向上にも努めていきたいと考えていますので、これからも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、おおいた障がい者芸術文化支援センターの事業運営にあたり、格別のご支援とご協力を賜りました関係者各位に心から感謝を申し上げます。

おおいた障がい者芸術文化支援センター

おおいた障がい者
芸術文化支援センター

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団



県内に居住する障がいのある人の芸術文化活動を支援することを目的に、令和元年11月に大分県が「おおいた障がい者芸術文化支援センター」を設立しました。障がいのある人自身やそのご家族、支援者などの相談内容に応じて、障がいのある人が芸術文化活動を楽しむことができる環境や体制を整え、様々な機関や人をつなげてサポートします。大分県において、障がいのある人たちの芸術文化活動の輪が広がり、誰もが自由に表現を楽しみ、生き生きと自分らしく生活できることを目指します。

1

P 03-04

相談支援

個性や障がい特性に合わせた制作環境づくり、イベントの企画・運営についてなど、障がいのある人の表現活動に関する様々な相談を受け付けています。

2

P 05-10

創造機会の拡充

障がいのある人が地域の人々と共に表現活動を楽しめる場を提供しています。

3

P 11-15

発表機会の拡充

展覧会や舞台公演など、障がいのある人の表現活動を発表する場を提供しています。

4

P 16-17

鑑賞機会の拡充

様々な団体と連携し、障がいのある人が美術館や劇場、ホールを気軽に訪れることができる場を提供しています。

5

P 18

人材育成

障がいのある人の芸術表現を支援し、企画・運営する人材のスキルアップを図ることを目的に、芸術文化や福祉、教育等の分野に携わる人などを対象としたセミナーを開催しています。

6

P 19

交流事業

障がいのあるアーティストが講師となり、県内の学校などでワークショップを行っています。子ども達との交流を通じて、障がいへの理解や表現活動への関心を高めることを目的にしています。

7

P 20-21

情報収集・情報発信

障がいのある人の芸術文化活動に関する調査を行い、新たな人材や作品を発掘しています。ホームページやSNSを通じて、県内で活躍する障がいのある作家の紹介や、県内外のアートイベントの情報発信を行っています。

1

相談支援

相談支援

概要

主に障がいのある人ご自身やご家族、障がい福祉関係者より、創造機会や発表機会に関する相談がメインに寄せられました。ご本人の希望に合わせて、対応可能な範囲で情報提供や助言を行っています。また、年々増加傾向にある相談に適切に対応するため、研修参加等による職員のスキルの向上を図っています。

ねらい

創造・発表・鑑賞に関する支援や取り組みの方法等について、情報提供や助言を行う相談支援体制を整備し、芸術文化活動を通して障がいのある人が今まで以上に社会に参加していく未来を目指します。

令和6年度相談実績

令和6年4月～令和7年2月

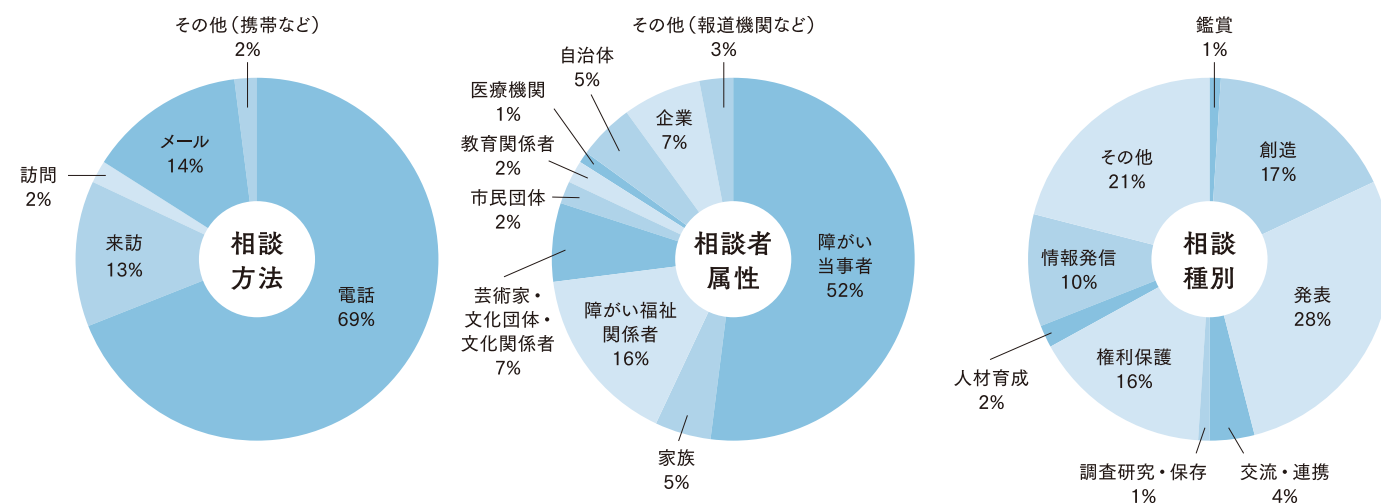
相談件数 213件 対応回数 262回

相談窓口

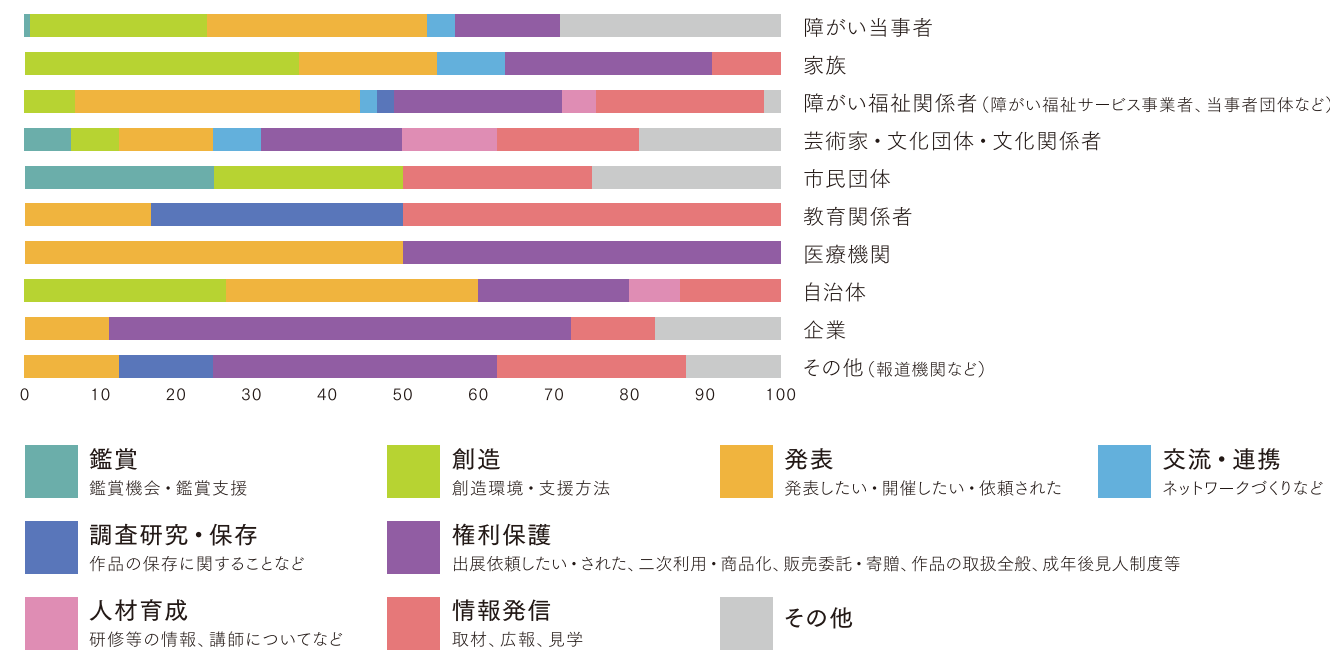
【相談方法】 電話、来訪、訪問、メール、FAX、ZOOMなど

【受付時間】 9:00～17:00（土・日曜、祝日等を除く）

相談件数の内訳



クロス集計 相談者属性×相談種別



相談支援事例

CASE 1

相談者

文化施設

相談種別

出展依頼



「My works -私の作品展-」平和市民公園能楽堂

相談内容

ロビーのショーウィンドウを、創作に励む市民に無償で提供し、作品発表の機会にしてみたい。色々な市民に声をかけているが、支援センターからも紹介してもらえないか？

支援センターのアトリエ活動や相談対応などでお会いしてきた方々を紹介し、誰に依頼したいかリクエストしてもらった。支援センターから作者に連絡し、快諾後、設営と撤収に立ち会った。

CASE 2

相談者

市町村

相談種別

創作



「ゆふボきらきら教室」庄内公民館 講師：梅本美術研究所

相談内容

障がいのある人のための生涯学習教室を開催している。次はアート活動を企画したいが、適切な講師を知らない。支援センターで講師を紹介してもらえないだろうか？

支援センターのアウトリーチ活動で依頼をしたことのある講師や活動例を複数紹介し、誰に依頼したいかリクエストしてもらった。支援センターから講師に相談をしたところ話を聞いてもらえることとなり、直接、相談者と講師で打ち合わせを進めて、実施をしていただいた。

CASE 3

相談者

企業

相談種別

出展依頼



「けんしん美術展」大分県信用組合

相談内容

大分県民を対象とした公募の美術展を33年間継続している。障がいの有無にかかわらず表現者の作品を広く紹介したいと考えている。公募展の出展にも繋げるため、公募展会場で展示をしてもらえないか？

施設訪問や相談対応などでお会いしてきた方々から3組をピックアップし展示。一般公募の中にも、障がいのある人の作品が見受けられるようになった。

2

創造 機 会 の 拡 充

オープンアトリエ in コトブキヤ駅南

概要

月1回コトブキヤ駅南店の中で創作活動の場を用意。画材も色々な種類を揃え、参加者が興味のあるものにチャレンジできる環境を整え、1回2時間の活動を行いました。

ねらい

障がいのある人となない人が、ともに芸術文化活動を楽しみながら創造性を育む場を提供することで、互いの理解を深め、アートに親しむ環境を作り出します。

【創作活動アドバイザー】 谷口裕子
トマリアサミ
垣内優子
芳賀健太

【期 間】 2024年6月～2025年3月（8月・11月はお休み）
【時 間】 午前 10:30～12:30 午後 14:00～16:00
【会 場】 コトブキヤ駅南店3階



わたしのパレット展

概要

オープンアトリエ in コトブキヤ駅南で活動するなかで生まれた作品を中心に1人1点ずつ作品を発表しました。

ねらい

アトリエ活動の成果を展示することで、アートを通じた社会参加を実現するとともに、社会全体の理解を促します。

【期 間】 2025年3月4日（火）～3月30日（日）
【時 間】 平日 9:00～17:30
土日 10:00～17:00（祝日は休館）

【会 場】 大分銀行宗麟館2階 ソーリンスクエア
【協 力】 株式会社大分銀行
【展示構成】 青トンカチ



アウトリーチ

概要

福祉施設や特別支援学校などに、絵画・造形・音楽・身体表現などの専門講師を派遣し、アート活動の機会を提供しています。今年度は14ヵ所でアウトリーチを実施し、多くの方と一緒に活動することができました。

ねらい

移動手段や障がいの状態により美術館やホールでの芸術文化イベントへの参加が難しい人に、直接訪問してアート体験を届けることで、アートを楽しみ自己表現する機会を提供しています。また表現活動を支援する方々の学びの場としても位置付けています。



MUSIC 音楽



大分市

ジャズコンサート

【団 体】 大分県医療的ケア児者の親子サークル
ここから [大分市]
【講 師】 村田千尋 [ジャズピアニスト]
Uta [ボーカル]

MUSIC 音楽



別府市

音遊び

【団 体】 体験型学習施設 オリーブの樹 [別府市]
【講 師】 木村八重子 [音楽療法士]



MUSIC 音楽



九重町

音遊び

【団 体】 地域生活支援センターはぎの
このえ"夢"ステーション [九重町]
【講 師】 木村秀和 [美術家]
宮崎宏史 [林業家]



MUSIC 音楽



豊後大野市

音遊び

【団 体】 社会福祉法人萌葱の郷 障がい福祉サービス事業所
どんこの里いぬかい [豊後大野市]
【講 師】 片岡祐介 [音楽家]
木村秀和 [美術家]



ART
アート



大分市

みんなの大きな海をつくろう 手から始まるアドベンチャー ～海～

【団体】 大分県立中央支援学校 高等部 [大分市]
【講師】 芳賀健太 [空間ペインター]

ART
アート



佐伯市

物語＋造形アート ～希望のへびを作ろう～

【団体】 一般社団法人わかな ツリーハウス [佐伯市]
【講師】 芳賀健太 [空間ペインター]

ART
アート



日田市

粘土工作

【団体】 株式会社シンシアリー [日田市]
【講師】 中野マーク周作 [陶器造形作家]
中野伸哉 [イラストレーター・陶芸家]



ART
アート



竹田市

カラフルダンボールでお城を作ろう

【団体】 こどもデイサービスセンター
「ゆうゆう」[竹田市]
【講師】 トマリアサミ [アーティスト]

ART
アート



大分市

粘土工作にチャレンジ

【団体】 ビたの [大分市]
【講師】 中野マーク周作 [陶器造形作家]
中野伸哉 [イラストレーター・陶芸家]

ART
アート



中津市

不思議な彫刻を作ろう

【団体】 地域活動支援センター I 型 リアン [中津市]
【講師】 村上佑介 [大分大学教育学部准教授]

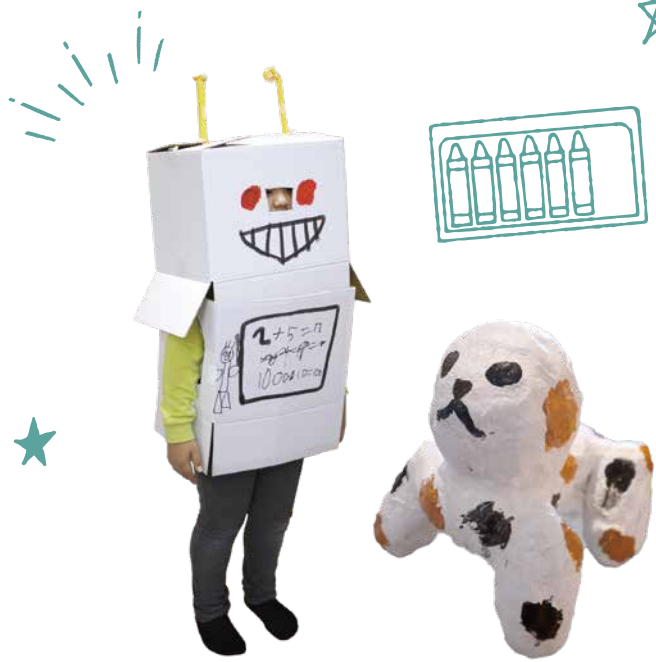
ART
アート



大分市

野菜モンスターを作ろう!

【団体】 放課後等デイサービス あいわ [大分市]
【講師】 山脇益美 [詩人・アーティスト]



ART
アート



由布市

不思議な彫刻を作ろう

【団体】 特定非営利活動法人 P-Spread Japan
陣屋ガーデン [由布市]
【講師】 村上佑介 [大分大学教育学部准教授]

DANCE
ダンス・身体表現



宇佐市

ダンス やってみよう!メタモルフォーゼ!

【団体】 合同会社hananoki TAMON [宇佐市]
【講師】 麻生和江 [大分大学名誉教授]

DANCE
ダンス・身体表現



別府市

楽しくからだを動かそう!

【団体】 児童発達支援事業所 しるし [別府市]
【講師】 あべこ [役者・ミュージカルスタジオ主宰]

オープンアトリエ 地域開催

概要

今年度は津久見市と玖珠町で障がいのある人もない人も参加できるワークショップを2回ずつ実施しました。自治体と協力することで、地域住民に情報を広く届けながら、地域の公共施設等なじみのある場所で、アート体験を楽しんでいただくことができました。

ねらい

大分市中心部と比較するとアート参加の機会を得られにくい地域に、障がいのある方とない方がともに地域でアート活動に参加できる機会を作ることが目的としています。また自治体と協力するなかで、今後地域ならではのアート活動が生まれることも視野に入れています。

ワークショップ

オープンアトリエ in つくみ

A

よく見て触って、
お気に入り
フレームづくり♪

【講師】 トマリアサミ [アーティスト]
【開催日】 2024年8月8日(木)
【会場】 津久見市民会館 1F 第1会議室



B

きらきら
ランプシェードを
つくろう!

【講師】 廣瀬剛 [大分大学教育学部 教授]
【開催日】 2024年8月21日(水)
【会場】 津久見市民会館 1F 第1会議室



ワークショップ

オープンアトリエ in くす

A

歌って、踊って、楽しい
ミュージカル体験♪
リズムにのって、声を出そう!

【講師】 あべこ [役者・ミュージカルスタジオ主宰]
【開催日】 2024年8月1日(木)
【会場】 メルサンホール 健康増進室



B

身近なもので音楽を作ろう!
やってみよう、
ストンプの世界♪

【講師】 あべこ [役者・ミュージカルスタジオ主宰]
【開催日】 2024年8月23日(金)
【会場】 わらべの館 大座敷



3

発表
機会
の
拡
充

おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展 vol.6

手から始まるアドベンチャー

概要

大分県立美術館(OPAM)を会場に、県内において魅力的な芸術文化活動に取り組む作家や施設・特別支援学校を紹介する企画展を開催しました。あわせて、障がいのある人もない人も共に親しめる鑑賞機会として「さわる鑑賞」をテーマとした「ユニバーサル・ミュージアム展」を招聘しました。

ねらい

県立美術館というアート鑑賞に特化した空間で作品を発表し、創作意欲の向上や生きがいにつなげるとともに、より多くの県民が作品や作家を知る機会をつくります。また、障がいの有無を越えて楽しむことができる、県外の先進的な展覧会に触れる機会をつくります。

【期 間】 2024年10月30日(水)～11月9日(土)

【観覧料】 無料

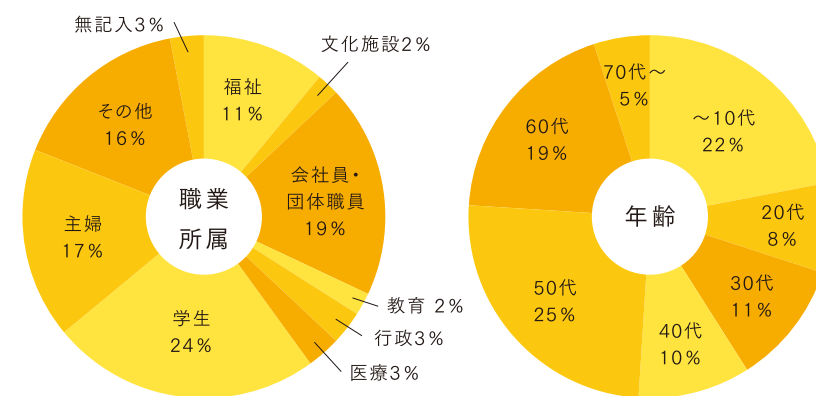
【会 場】 大分県立美術館(OPAM)1階 展示室A

【協 力】 豊後大野市(朝倉文夫記念館)



令和6年度企画展実績

- 来場者
5,299人
- 出展者
第1部:24人・組 / 第2部:9人・組
- 出品点数
第1部:160点 / 第2部:98点
- 来場者アンケート集計
回答数:63件 回答率:1.2%



過去に開催した当センターの企画展への来場

Vol.1	9人
Vol.2	5人
Vol.3	6人
Vol.4	5人
Vol.5	12人
どれも見ていない	32人

来場者の感想

- ▶ さわれる展覧会はめったにないものなので、とても面白かったです。
- ▶ さわらないとわからない事がたくさんあることに気づきました。見ているときと違う感覚におどろきました。
- ▶ 大型の作品は見ごたえがあります。根気の要る作業に圧倒されます。
- ▶ 作りたい物を爆発的な色彩で表現されている。作品を目にただで、エネルギーを与えてくれた。
- ▶ これからも支援学校の子どもたちや卒業した方たちの作品の展覧会をつづけて下さい。

第1部

ユニバーサル・ミュージアム 大分出張展

YOUTUBEで
公開中!



2021年に大阪の国立民族学博物館で大規模な特別展として開催された「ユニバーサル・ミュージアム—さわる! “触”の大博覧会」は、展示物すべてをさわって鑑賞することができる展覧会です。他地域での巡回展を経て、選りすぐりの作品達が十分にやってきました。

【出展者】 大塚オーミ陶業株式会社、岡本高幸、片山博詞、株式会社三木製作所、北川太郎、桑田知明、高見直宏、田代雄一、戸坂明日香、富長敦也、堀江武史、前川紘士、真下弥生、松井利夫、宮本ルリ子、守屋誠太郎、ユニバーサル・ミュージアム研究会、渡辺泰幸、わたる(石川智弥+古屋祥子)、わらべ館 若林孝典

【監修】 広瀬浩二郎 [国立民族学博物館 教授]

【展示設計】 アイデアルデザイン製作所



Universal Museum



特別展示(期間限定)

豊後大野市朝地町出身の彫刻家・朝倉文夫氏の作品を期間限定で公開しました。手袋をはめてさわって鑑賞いただきました。

【期 間】 11月6日(水)～11月9日(土)

【協 力】 豊後大野市(朝倉文夫記念館)

第2部

大分のつくり手たち

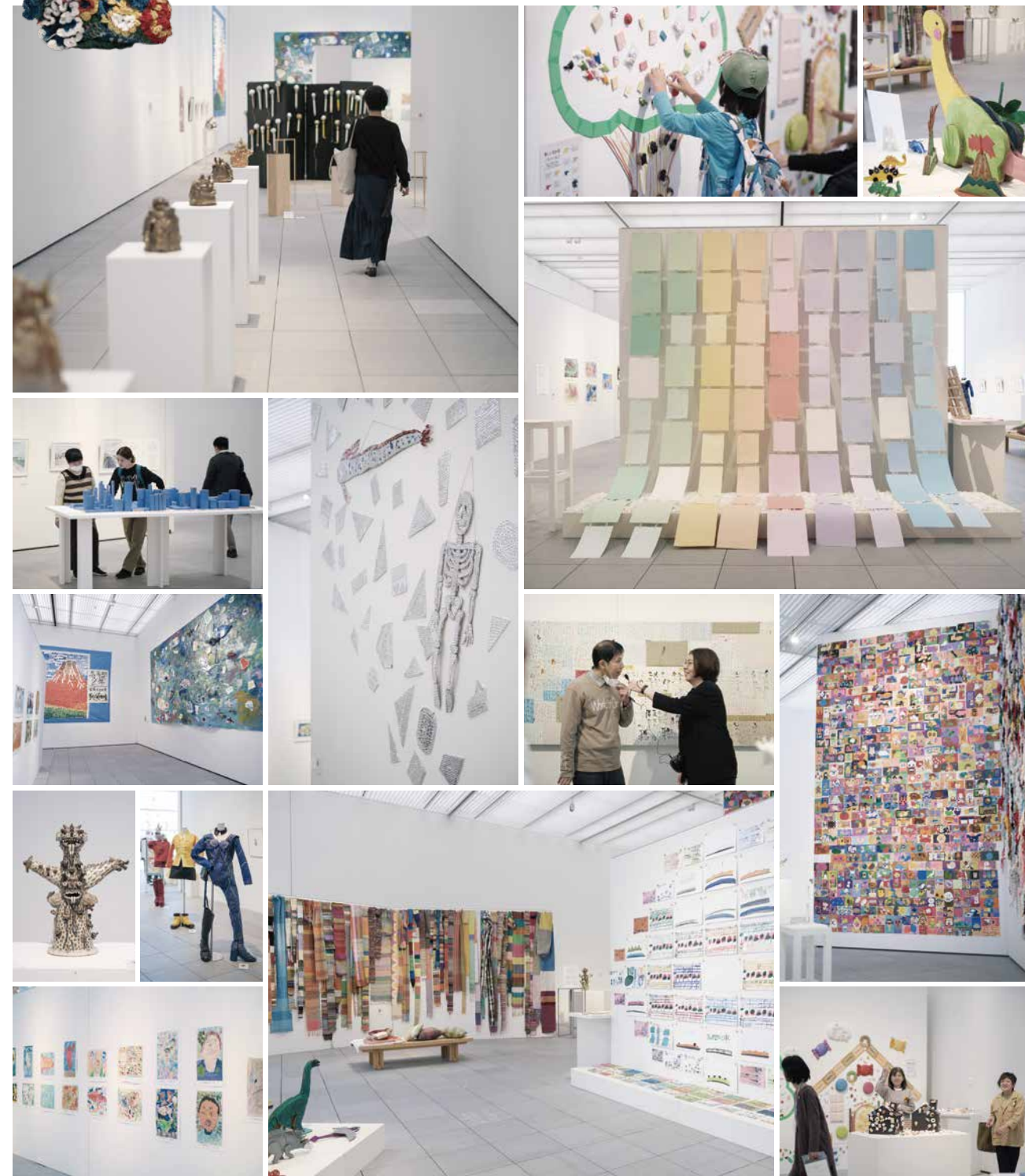
県内の個人や施設、特別支援学校の人々の手から生まれた作品を紹介しました。
今回の展覧会テーマ「さわる鑑賞」ならではの試みとして、
展示作品の一部をさわって鑑賞することができるよう、出展者にご協力いただきました。

【出展者】 甲斐瞳、中野マーク周作、あとえ湯輪夢、
アトリエ MOE、さつき園小島、さつき園中江、大分県立中央支援学校、
大分県立佐伯支援学校、高山辰雄賞ジュニア美術展

YOUTUBEで
公開中！



Creators in Oita



gallery MAPO

概要

大分県立美術館(OPAM) 2階に展示スペースを
設け、芸術文化活動に取り組む障がいのある人の
作品を展示しました。

ねらい

県立美術館というアート鑑賞に特化した空間で作品
を発表し、創作意欲の向上や生きがいに繋げる
とともに、県民が作者を知る機会をつくれます。



ギャラリー
gallery MAPO



薬師神文孝

【期間】

2024年5月2日(木)～6月30日(日)
アルミホイルの切れ端を丸めて作って
います。支援員との協働で生み出される
作品です。

感想ノートより

- ▶ 近くから見ても遠くから見てもきれいな作品で、美しかったです。
- ▶ 小さなアルミホイルが広大な宇宙を感じさせ、対比が凄いいと思いました。



YUSUKE

【期間】

2024年7月2日(火)～8月29日(木)
スピーディーに描かれるストライプの絵。
日によって色づかいが変化し、自由な心
を感じさせます。

感想ノートより

- ▶ カラフルな色に足が止まりました。ありがとう。
- ▶ 絵は上手下手ではなく、人に感動を与えるものだと改めて感じました。通り過ぎただけなのにこんなに惹きつけられたのは始めてです。



生野隆之

【期間】

2024年9月3日(火)～10月31日(木)
パステルで画面いっぱいに描かれた季節
の花たち。のびのびと柔らかな様子
です。

感想ノートより

- ▶ 大まかな特徴をとらえて描かれていて、とても暖かく優しい絵だと思いました。
- ▶ 花が輝いて幸せそうです。元気が出ます。



堀德行、徳丸美香

【期間】

2024年11月2日(土)～12月25日(水)
樹脂の板を手で割り、かけらを一つひとつ
貼り付けるモザイク画。不思議な物語
の世界へと誘う窓のようにもみえます。

感想ノートより

- ▶ 気付きの視点。同じものを見ている世界の違いに楽しくなりました。
- ▶ 色使いに元気をもらいました。自分もなにか作ってみたいです。これからも作品を楽しみにしています。



河野真一郎

【期間】

2024年12月27日(金)～2025年2月27日(木)
大分の風景の水彩画。描けば描くほど
絵の具の混色や細部の描き込みに熱
中し、日々作品が進化しています。

感想ノートより

- ▶ 絵の一つひとつが細かくて、写真みたいで凄いですね！
- ▶ やまなみハイウェイ、別府夜景、きつね。タッチがみんな違うのに、生き生きとしていてステキです。いつまでも見ていられる。



糸永亮太

【期間】

2025年3月1日(土)～4月30日(水)
「今日は何の日」をテーマに、毎日ホワイト
ボードに絵を描き続けてはや10年目。色数
が限られるマーカーを工夫して使ってい
ます。大事にしている「お宝版」を一挙に公開。

感想ノートより

- ▶ 何気ない1日でも特別な日になりそうです。
- ▶ 細かい部分まで丁寧に描かれていますね。マーカーの線が光の反射のように感じられます。



オリジナル音頭ワークショップ・舞台

手から始まる音頭を作ろう

概要

企画展開催の中で大分県立美術館（OPAM）のアトリウムを舞台とし、3日間のワークショップ成果をパフォーマンス公演として披露。今年は現代音頭作曲家の山中カメラ氏を講師に迎えてみんなで制作したオリジナル音頭を、「記者発表・盆踊り大会」という形で紹介し、来場者も巻き込んで一緒に踊りました。

ねらい

障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒に創作し、つくり上げた表現を楽しむ場を提供します。参加者には自己表現の機会を持っていただくだけでなく、仲間との絆の中から生まれる作品を共有する喜びも実感していただきます。また、舞台発表を通じて、社会とつながる貴重な体験の場を提供します。



【講師】 山中カメラ [現代音頭作曲家・特殊写真家]

【開催日】 2024年11月3日（日）

【会場】 大分県立美術館（OPAM）1階アトリウム



3日間のワークショップを経て、音頭をつくりました！

1日目



音頭の歌詞を作ろう

～あなたのことがオンガクになる!!～

【開催日】 2024年10月31日（木）

7・7・7・5のフシで
歌詞をつくっていききました。

2日目



音頭を録音しよう

～あなたの音はどんな音?～

【開催日】 2024年11月1日（金）

どきどき!
レコーディングにチャレンジしました!

3日目



音頭の踊りを考えよう

～あなたの“手”でどんなふうに踊る?～

【開催日】 2024年11月2日（土）

みんなで話し合って、
ふりつけを決めました♪

4

鑑賞機会の拡充

鑑賞支援つき

詩を愉しむ日本の歌コンサート

概要

iichiko総合文化センター企画普及課と連携し、障がいのある人もない人もともに劇場という非日常を楽しめるよう、特性にあった鑑賞支援を用意し、舞台公演を行いました。今回ならではの試みとして、演目の歌曲を題材にした作品を特別支援学校や放課後等デイサービス、個人の方などに制作してもらい、会場展示やスクリーン上映をして、視覚情報とともに歌曲を楽しんでいただきました。

ねらい

障がいがある人が鑑賞する際の情報保障などを行うことで、舞台鑑賞における様々なバリアを取り除き、だれもが参加してともに楽しめる鑑賞環境を目指します。



【出演】 小倉理紗子 [ソプラノ]
佐々木優実 [ソプラノ]
中川誠宏 [テノール]
石本高雅 [バリトン]
小町美佳 [ピアノ]

【舞台手話通訳】 野上まり [福岡ろう劇団博多]
鈴木玲雄 [福岡ろう劇団博多]

【開催日】 2024年7月30日（火）

【会場】 iichiko総合文化センター iichiko 音の泉ホール

【来場者】 453人

【主催】 iichiko総合文化センター、
おおいた障がい者芸術文化支援センター



【演目】 金子みすゞ / 中田喜直『わたしとことりとずと』
北原白秋 / 山田耕筰『からたちの花』
谷川俊太郎 / 新実徳英『どきん』
鳥居枕 / 瀧廉太郎『箱根八里』
まど・みちお / 木下牧子『おながく』
阪田寛夫 / 山本直純『夕日が背中を押してくる』



ほか



【鑑賞支援】

舞台手話通訳、手話通訳、字幕、要約筆記、補助犬簡易トイレ、場内明りめ、音量小さめ、特別鑑賞室、点字プログラム、拡大文字プログラム、座席補助シート、イヤーマフ、ヒアリンググループ席、Antenna（アンテナ）、車椅子席

【作品制作協力】

放課後等デイサービスあすなろ、
天心堂こども発達支援センター 一休さん、
ハートフルホーム ぼぽぼキッズ、
大分県立大分支援学校、大分県立新生支援学校、
大分県立中央支援学校、大分県立聾学校、
オープンアトリエ in コトブキヤ駅南参加者

来場者の感想

- ▶ ステキな歌声に元気をいただきました。ありがとうございました。
- ▶ 今まで聞きに行ったなかで一番身近に感じられ、とても感動しました。
- ▶ 子どもが泣いてもかまわないやさしさがあった。
こんなコンサートは気軽にとても良いと思った。
- ▶ 歌詞を手話で表現豊かに伝える配慮に感激しました。
絵に囲まれて音楽を聞くという初めてのコンサートすてきでした。
- ▶ 手話に興味があった。
- ▶ 知覚障がいのある娘は普通のコンサートは無理ですが、
色々な体験をさせたいと思っています。
- ▶ いろんなお客さんがいらしゃいますので、これが正しいと
決める事はできないと思いますが、何回も何回も開催してみてください。



彫刻をさわるワークショップ in 竹田

概要

彫刻メンテナンスを含む、彫刻を“さわって”楽しむワークショップを行いました。日本を代表する彫刻家・朝倉文夫ゆかりの地である竹田で、専門家の説明を交えながら上質な彫刻をさわることで、目で見ただけでは感じられなかった質感やあたたかみを味わうことができました。

ねらい

日ごろは「見て」楽しむ彫刻を実際に「さわって」いただくことでアート鑑賞の方法を多角的に示し、障がいのある人もない人も、ともにあらためて美術作品の魅力に気づききっかけを提供します。また、さまざまな方がよりアートを鑑賞しやすくなる工夫をおこなうことで、アートを身近に感じていただく環境を実現していきます。

【講師】 田中修二 [日本大学藝術学部 美術学科 教授]
村上佑介 [大分大学教育学部 准教授]

【開催日】 2024年9月14日(土)
【時間】 10:00～15:00
【会場】 グランツたけた、竹田市歴史文化館・由学館
【共催】 公益財団法人竹田市文化振興財団
竹田市歴史文化館・由学館
大分大学教育学部美術講座



5

人材育成

支援・指導者のための創作ワークショップ

概要

障がい福祉サービス事業所の職員や教職員など、障がいのある人の創作活動に関わる方を対象として、造形活動を体験するワークショップを開催。実際に手を動かして作ることで、表現することの面白さを学び、工夫することの難しさ等を体感してもらいました。

ねらい

障がいのある人の表現活動を支援する人材の育成を図り、ともに学び、情報共有をしあうことで活動の輪を広げます。

わくわく・こねこね・ネンド造形

【講師】 中野マーク周作 [陶器造形作家]
中野伸哉 [陶芸家・イラストレーター]



第1回 ワークショップ in 日田市

【開催日】 2024年7月28日(日)
【会場】 日田市民文化会館
「パトリア日田」スタジオ1

参加者の感想

- ▶ 久しぶりに自分自身で真剣に制作活動をしてみて、何を作ろうか悩んだり、作り方の難しさを感じたりして、教える側として貴重な体験ができた。
- ▶ 教えられる立場になったとき、意外と緊張する事がわかった。これからは職場の言葉づかいに気をつけたいと思いました。

第2回 ワークショップ in 佐伯市

【開催日】 2025年3月1日(土)
【会場】 佐伯地区公民館(旧三余館)

参加者の感想

- ▶ 集中する楽しさを実感した。授業時にこんな思い(まだやりたい、もっと考えたい等)になるよう、学ぶ時間を作らなければならないと思った。
- ▶ 普段障がいのある子ども達と接する仕事をしているのですが、その子達の良さをもっと引き出せるような支援をしていきたいと思いました。

6

交流事業

アートを感じるワークショップ

概要

大分県内で活動している障がいのある作家が、県内の小学校を訪問してワークショップを行いました。今年度は、大分市立横瀬西小学校と由布市立西庄内小学校にて1回ずつのワークショップを開催しました。

ねらい

県内で活動している障がいのあるアーティストと交流することで、子どもたちのアート（表現活動）への関心を高めます。アートを通して人と人の出会いの場をつくることで、障がいを理解し、その有無にとらわれない「共に生きる」地域社会の構築を目指します。



粘土工作にチャレンジ！

【講師】 中野マーク周作 [陶器造形作家]
中野伸哉 [陶芸家・イラストレーター]
【対象】 由布市立西庄内小学校 (1年生・2年生)

【開催日】 2024年9月4日 (水)
【会場】 由布市立西庄内小学校

自閉症の陶芸作家・中野マーク周作さんと工房ラロマ代表の父・中野伸哉さんを講師に迎え、粘土工作をおこないました。周作さんの粘土作品をテーブルいっぱいに並べると、参加した皆さんは興味深そうに取り組み、それらをお手本にする人もいれば、思い思いの形を作る人もいました。周作さんがその場で作品制作する様子に感動したり、「すごいね」とかけてくれた言葉に喜んだり、豊かな交流の時間になりました。



絵手紙で感謝の気持ちを伝えよう

【講師】 原野彰子 [絵手紙作家]
【対象】 大分市立横瀬西小学校 (6年生)

【開催日】 2024年10月3日 (木)
【会場】 大分市立横瀬西小学校

車椅子生活をしながら各地で精力的に絵手紙教室や展覧会を開催する原野彰子さんを講師に迎え、交流事業をおこないました。参加した皆さんは最終学年ということもあり、「家族などに、感謝の気持ちを伝えたい」というテーマで絵手紙に挑戦しました。障がいとともに生きてきた原野さんの半生についてのお話に聞き入ったり、テーブルに並べられた本物の果物や野菜、花などからそれぞれの見本を選んだりして、自由にのびのびと描く体験となりました。最後に原野さんから一人ひとり作品の良いところを褒められた際には、安堵とともに誇らしい表情が浮かびました。



7

調査・発掘

概要

障がい福祉施設や学校の関係者からの情報提供、障がいのある人の作品公募展「ときめき作品展」の出展情報などを手掛かりに、美術やデザインの専門的知識を有する人とともに調査を行い、新たな作家や作品の発掘を行いました。

ねらい

県内在住の魅力的な創作を行う障がいのある人の情報を1人でも多く集め、今後、支援センターの企画展覧会に出展いただいたり第三者に紹介したりするなど、様々な場へ繋げていきたいと考えています。

情報収集・情報発信



令和6年度 調査実績

【調査先】	福祉事業所	特別支援学校	個人	特別支援学校	個人
【市町村】	別府市	竹田市	大分市	佐伯市	国東市
【分野】	絵画	絵画	絵画	絵画	絵画

【調査員】 廣瀬剛 [大分大学教育学部 教授]
中野伸哉 [陶芸家・イラストレーター]



調査員の感想

▶ Aさんは、自分の気に入った絵柄にこだわって描いているのがステキです。周囲の方はご本人の意志をなるべく尊重し、無理強いすることなく絵を描く環境を作ってあげたら良いと思います。「絵を描く事は楽しい…」という感情を育て、描く時間を習慣化できると良いのではないかと思います。

▶ Bさんは、絵を独学で模索しながら制作を続けているようです。公募展への出品もたいへん意欲的で、制作への原動力のひとつになっているようです。制作枚数を重ねていけばご本人にしか表現できない絵の個性が生まれていくので、焦らず長く続けていくことを期待します。絵のモチーフになる写真は、既存の印刷物や、周囲にお願いして撮影したものを使用していました。できるだけご自身で撮影したもののほうが作品の独自性につながると考えます。自身で撮影ができない場合は、ほかの方にできるだけ多く撮影してもらい、描きたい一枚を選ぶ方法もあります。

情報発信

概要

おおいた障がい者芸術文化支援センターの事業を様々な媒体で発信するよう努めています。
また、障がいのある人の発表活動や公募展などの情報を、ホームページやSNS等で発信しています。

ねらい

県民を中心とした多くの方に、障がいのある人の芸術文化活動を広く周知していきます。

情報発信件数(2025年2月末現在)



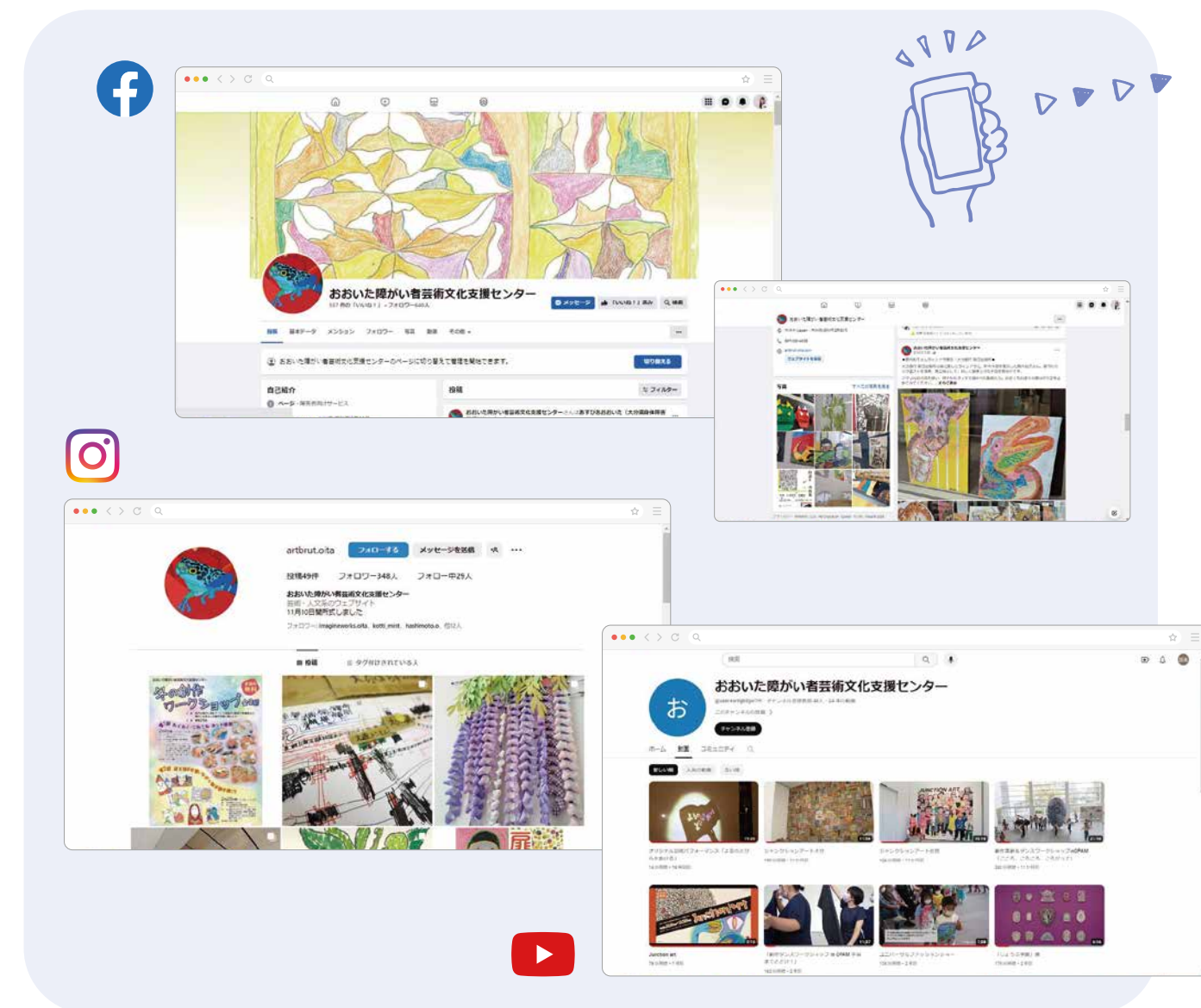
メディア掲載 (センター事業関係)

新聞 11件
テレビ(ケーブルTV含む) 3件
雑誌・WEBサイト等 14件



ホームページおよびSNS発信

ホームページ 88件 (うち支援センター事業18件)
Facebook 92件 (うち支援センター事業34件)
Instagram 22件
Youtube 4件



- 1,5,7 — アウトリーチ
- 2,8,9 — 手から始まるアドベンチャー
- 3 — 彫刻をさわるワークショップ in 竹田
- 4 — オープンアトリエ in くす
- 6 — アートを感じるワークショップ

おおいた障がい者芸術文化支援センター

〒870-0029
大分県大分市高砂町2番33号
iichiko 総合文化センター 4階
(公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団)

Tel : 097-533-4505 (平日9:00 ~ 17:00)
Fax : 097-533-4013
E-mail : artbrut-oita@emo.or.jp

◎JR 大分駅から徒歩で約10分
◎大分ICから車で約7分
◎駐車場あり(有料)

▼ ホームページ

<http://artbrut-oita.com>



▼ Facebook

おおいた障がい者
芸術文化支援センター



▼ Instagram

artbrut.oita



▼ Youtube

おおいた障がい者
芸術文化支援センター



【企画・発行】 おおいた障がい者芸術文化支援センター / 令和7年3月発行

おおいた障がい者芸術文化支援センターは大分県から委託を受け、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団が企画・運営しています。